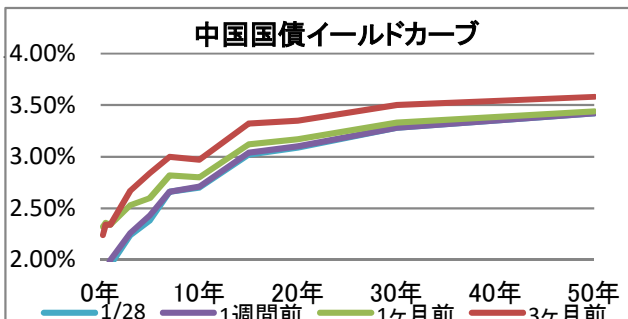
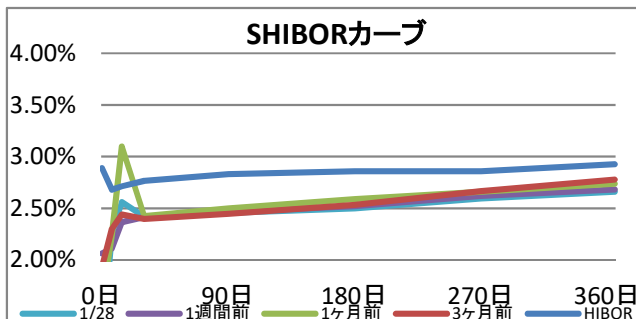


①市場概況

基準レート		2022/1/28	(前週末比)
人民元基準値	USD/CNY	6.3746	+0.0254
	JPY/CNY	5.5247	-0.0475
SHIBOR	3M	2.4570%	-0.0090%
国債利回り	10年	2.70%	-0.01%
上海総合指数		3,361.44	-161.12



(1) 概況

国際金融市場では、ウクライナ情勢の緊迫化に伴う原油等の価格上昇が続き、米国の積極的な金融引き締めへの懸念も高まったものの、債券市場、株式市場ともに底堅く、ドルが買い戻される展開となった。暗号資産価格は安値圏での取引が続いている。

中国金融市場では、コロナ感染拡大懸念がある中での春節連休と北京オリンピック開催を控えて緊張感が高まる中、米国の金融引き締めや国内の不動産業への不安とIT企業に対する規制強化への懸念が高まり、株式市場は大きく下げ、債券市場は小幅高（利回り低下）となり、外為市場では人民元安に転じている。

中国では、中国人民銀行が2021年金融市場運行状況において、債券市場、資金市場、デリバティブ市場、株式市場ともに市場規模が拡大したことを伝えている。また、IT企業に対する規制強化が続く中、銀行保険業のデジタル化指導意見やマネロンに対する規制強化に関する規則が出され、金融供給側の構造改革と金融サービスの高度化とリスク管理強化を進める方針が示されている。中国人民銀行は主要銀行27行（含む外銀）に対する国外貸付への規制強化、証監会は2022年計画において国外での証券発行と上場や不動産投資信託に関する法令の制定することを明らかにしている。

(2) 金融市場調節

中国人民銀行は、リバースオペ期日5,000億元に対し、新規のリバースオペ9,000億元を実施し、4,000億元を供給している。今週実施された利下げ後初のリバースオペ（2wk）の金利は2.25%に0.10%引き下げられている。

(3) 主な経済指標

- ・国家統計局PMI（1月）は、製造業50.1%（12月50.3%）、非製造業51.1%（同52.7%）、総合51.0%（同52.2%）と、前月比で小幅に低下したが、いずれも節目の50は維持している。ただし、製造業では国際経済環境の悪化や国内の感染拡大による需要不足が指摘されており、製造業、非製造業ともに雇用の回復が遅れている。
- ・財新製造業PMI（1月）は、49.1（12月50.9）と23か月ぶりの低水準。生産、新規受注ともに昨年8月以来の水準に低下し、雇用情勢も一段と悪化して2020年4月の水準まで低下している。

②資金市場

(1) 人民元資金市場

	SHIBOR	無担保資金	レポ	NCD AAA
ON	1.2000%	1.1800%	1.2500%	
1W	2.2500%	2.4000%	2.6000%	
2W	2.5610%	2.7000%	2.6500%	
1M	2.4190%	2.1000%	2.6000%	2.3000%
3M	2.4570%	5.4800%	2.5200%	2.3200%
6M	2.5000%	3.1000%	2.5900%	2.3700%
9M	2.5950%			2.4200%
12M	2.6600%	4.2500%		2.4400%

春節を前に中国人民銀行の積極的な資金供給により足元金利も1%台に低下し、波乱なく春節の連休を迎えている。

NCDは、長めの期間を中心に積極的な取引が続き、金利水準は長めの期間を中心に小幅ながら低下。ターム物の金利水準は、1ヶ月が2.30%前後、3ヶ月が2.32%前後、6ヶ月が2.37%前後、1年が2.45%前後で取引されている。

(2) 米ドル資金（本土内）

	BID	OFFER
ON	0.04%	0.05%
1W	0.05%	0.06%
1M	0.12%	0.15%
3M	0.30%	0.35%
6M	0.40%	0.45%
12M	0.50%	0.60%

ドル資金市場はFOMCと春節の要因から週末にかけて取引が減少。ターム物の金利水準は、1ヶ月が0.13%前後、3ヶ月は0.30%前後、6ヶ月は0.40-45%となっている。

③人民元債券市場

	国債	地方債AAA	金融債AAA	社債AAA	社債AA
3M	1.79%	1.89%	2.33%	2.46%	2.75%
6M	1.89%	1.90%	2.40%	2.47%	2.76%
1Y	1.95%	2.13%	2.47%	2.51%	2.83%
3Y	2.24%	2.48%	2.69%	2.79%	3.54%
5Y	2.38%	2.68%	3.05%	3.13%	4.03%
10Y	2.70%	3.02%	3.48%	3.66%	4.57%

債券市場では、足元金利水準と春節前のポジション調整、さらに米FRBの積極的な金融引き締め懸念等から、週初に買われた後はデューレーション短期化によるスティーピングが見られ、週末が近づくと中長期に買戻しが入るレンジ取引となり、10年国債利回りは2.70%前後での取引に終始。

イールドカーブは、利下げ後の金利水準を探りつつ春節の長期休暇に備える展開となり、全体的に若干下方シフトする中でデューレーションの短期化が見られブルスティーピングが一段と進んでいる。クレジットスプレッドは利率債の金利低下幅が相対的に大きかったことから小幅ながら拡大が続いた。

④先物為替市場

	USD / CNY
1W	25.0 / 28.0
1M	120.0 / 125.0
3M	350.0 / 355.0
6M	640.0 / 645.0
9M	900.0 / 910.0
12M	1140.0 / 1145.0

対ドル基準レートは6.3746と前週末比+254pipsのドル高元安、対円基準レートは5.5247と同-475pipsの円安元高と、米国の積極的な金融引き締めに対する懸念から減安に転じている。国内市場では、春節前の外貨売りが一巡したことや米FOMC後に国外投資資金の流出等もあってドル高元安に転じている。

先物は、米中金利差縮小見込みからスワップ幅は一段と縮小しており、1年物が1100台前半で取引されている。

⑤金利スワップ

	Quarterly 7d Repo A/365	Quarterly 3M SHIBOR A/365 A/360	Annually O-N SHIBOR A/365 A/360
3M	2.13%		1.92%
6M	2.11%	2.44%	1.93%
9M	2.11%	2.42%	1.97%
1Y	2.11%	2.42%	1.98%
3Y	2.26%	2.61%	2.32%
5Y	2.43%	2.85%	
7Y	2.58%	3.03%	
10Y	2.75%	3.18%	

スワップ金利は、利率債利回り、短期基準金利ともに小幅に低下したものの、概ね変化なし。債券市場での利率債利回り低下により、債券利回りとの金利差であるスワップスプレッドは若干拡大。

◆本資料は信頼できるとされる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。
◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等を負担頂くことがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目論見書をよくお読みください。

セントラル短資株式会社 登録金融機関関東財務局長（登金）第526号 日本証券業協会加入